

目次

1.動作環境について	1
2.Windows のログオンユーザーを確認する	2
3.動作上使用するポート番号	3
4.インストール時のメッセージ	3
■インストール先の指定で警告メッセージが表示される	3
■既定のユーザー名称・パスワードでデータベースにアクセスできない	3
■BeingCabinet データベースの初期設定でメッセージが表示される	4
5.BeingCabinet がすでにインストールされている場合	4
■システム更新	4
■BeingCabinet サーバーモジュールの再インストール	4
■データベースの再設定	4
■バージョン 1.6.0.53～1.7.0.65 からの更新インストール	5
■1.5.0.52 以前のバージョンからの更新インストール	5
■アンインストール	6

1.動作環境について

BeingCabinet には、以下の環境が必要です。

OS	<ul style="list-style-type: none">・日本語 Windows 8・日本語 Windows Server 2012・日本語 Windows 10・日本語 Windows Server 2016・日本語 Windows Server 2019
CPU/メモリ	お使いの OS が推奨する環境以上 (参考 CPU: Intel Core2 Duo 2GHz 以上/メモリ: 2GB 以上)
ディスプレイ 解像度	1280 × 800 ドット以上
ディスプレイ 表示色	High Color 以上
ハードディスク	BeingCabinet インストールドライブ NTFSフォーマット 空容量: 500MB 以上 ※インストール後の空容量は、データを保存するための空容量を十分確保して下さい。
ネットワーク プロトコル	TCP/IP
CD-ROM ドライブ	お使いの OS で動作可能な CD-ROM ドライブ
プロテクトユニット	USB ポート × 1
Web ブラウザ	BeingCabinet マネージャを利用する際に必要です。 Internet Explorer 11、Microsoft Edge、Google Chrome の各最新版

「BeingCabinet」の動作速度は、ハードウェア環境により左右されます。
快適にご利用いただくには、高速なハードウェアをご用意下さい。
ハードディスクの容量も大容量なものをご用意下さい。

2.Windows のログオンユーザーを確認する

インストールを行う場合、Windows のログオンユーザーに Administrator 権限が必要です。
必ず Administrator 権限を持つユーザーでログオンし、インストールを行って下さい。

■ Windows10 の確認方法

- ① Windows の [コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]
-[管理ツール]をダブルクリックします。

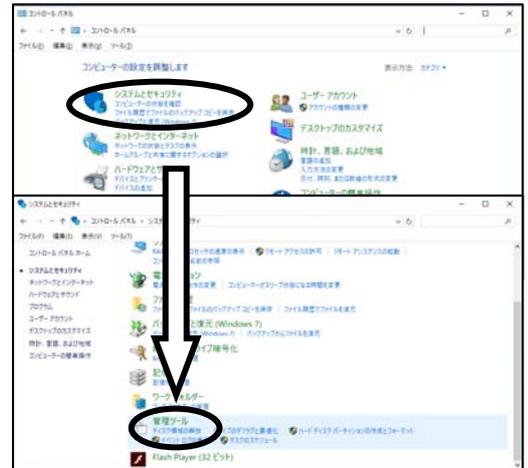
<コントロールパネルを開く>

(Windows10 の場合)

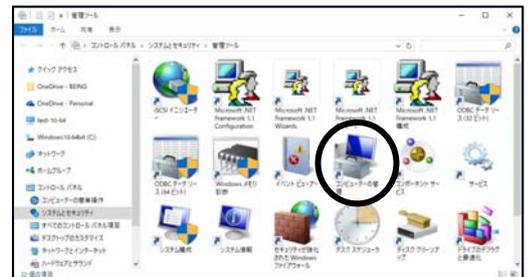
[スタート]ボタンを右クリックし、[検索]をクリックします。検索ボックスに「コントロールパネル」と入力して、[コントロールパネル]を選択します。

(Windows8.1 の場合)

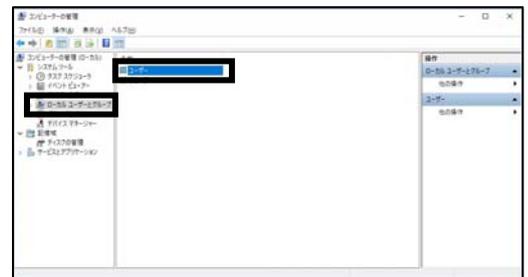
画面の右端からスワイプし、[検索]をタップします(マウスを使っている場合は、画面の右上隅をポイントしてマウスポインターを下へ移動し、[検索]をクリックします)。検索ボックスに「コントロールパネル」と入力し、[コントロールパネル]をタップクリックします。



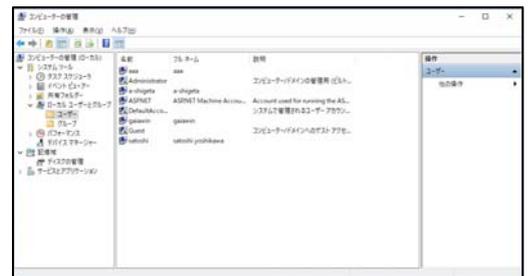
- ② 「管理ツール」画面が表示されます。
[コンピュータの管理]をダブルクリックします。



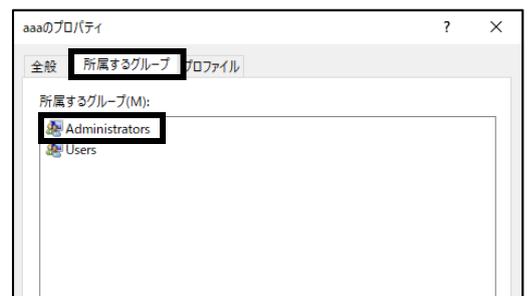
- ③ 「コンピュータの管理」画面が表示されます。
画面左側の「ローカルユーザーとグループ」をクリックし、画面右側の
[ユーザー]をダブルクリックします。



- ④ 確認したいユーザーの名称をダブルクリックします。



- ⑤ 「プロパティ」画面が表示されます。
「所属するグループ」タブをクリックし、Administrator 権限を持つ
グループに所属しているかを確認して下さい。



3.動作上使用するポート番号

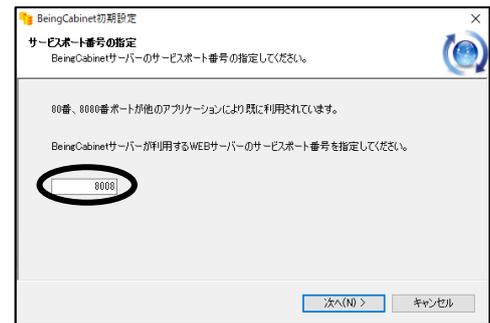
●BeingCabinet で使用する接続ポート

【WEB サーバー Apache】

(ポート番号) 80 8080

※WEB サーバーのサービスポートは次の順で決定します。

- 1) 80 番ポートが利用可能な場合は、80 番ポートを使用します。
- 2) 80 番ポートが利用不可の場合は、8080 番ポートを使用します。
- 3) 80・8080 番ポートが利用不可の場合は、インストールプログラム実行中にダイアログからポート番号を登録します。
デフォルト値に 8008 番が設定されていますが、登録するポート番号はシステム管理者にご確認のうえ登録して下さい。

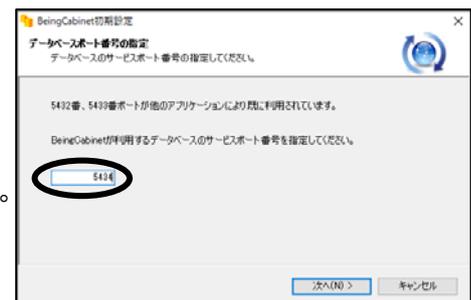


【データベース PostgreSQL】

(ポート番号) 5432

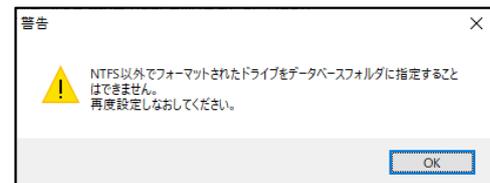
※データベース PostgreSQL のサービスポートは次の順で決定します。

- 1) 5432 番ポートが利用可能な場合は、5432 番ポートを使用します。
- 2) 5432 番ポートが利用不可の場合は、5433 番ポートを使用します。
- 3) 5432・5433 番ポートが利用不可の場合は、5434 番ポートを使用します。
- 4) 5432・5433・5434 番ポートが利用不可の場合は、データベースポート番号を指定するダイアログが表示されますので、ポート番号を指定して下さい。



4.インストール時のメッセージ

■インストール先の指定で、警告メッセージが表示される
「NTFS 以外でフォーマットされたドライブをデータベースフォルダに指定することはできません。再度設定しなおしてください。」
と、右図のメッセージが表示される場合

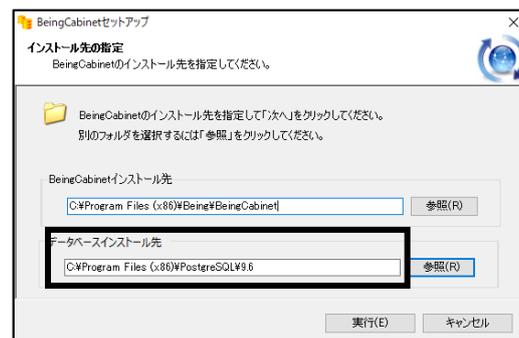


データベースのインストール先ドライブは、ファイルシステム:NTFS のみに限ります。
NTFS 以外でフォーマットされたドライブを指定することはできません。

- ① [OK] をクリックし、「警告」メッセージを閉じます。
- ② 再度、「データベースインストール先」ドライブを設定して下さい。

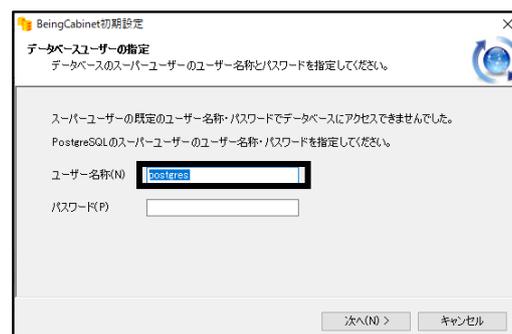
※ファイルシステムの確認方法

エクスプローラを表示し、ドライブにて「右クリックメニュー」の「プロパティ」をクリックします。「プロパティ」画面の「全般」タブにて、ファイルシステムを確認できます。



■既定のユーザー名称・パスワードでデータベースにアクセスできない
すでに PostgreSQL がインストールされている場合で、既定のユーザー名称・パスワードでデータベースにアクセスできない場合、右図の「データベースユーザーの指定」画面が表示されます。

PostgreSQL スーパーユーザーのユーザー名称・パスワードを入力し、[次へ] をクリックして下さい。



■BeingCabinet データベースの初期設定でメッセージが表示される
「以前のバージョンのデータベースに BeingCabinet のデータが見つかりました。」と、右図の質問メッセージが表示される場合

○「はい」を選択した場合

既存の PostgreSQL のデータを PostgreSQL9.6 へ移行し、
BeingCabinet データベースのバージョンアップが開始されます。

○「いいえ」を選択した場合

既存の PostgreSQL のデータを移行せずに、新規の PostgreSQL9.6 を利用し、
BeingCabinet の新規インストールを開始します。

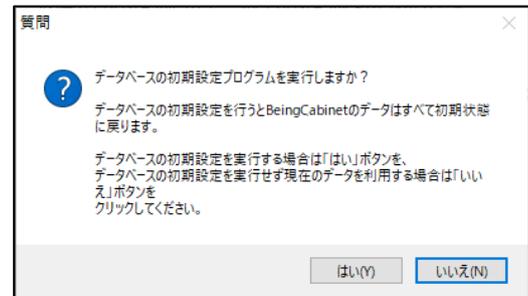
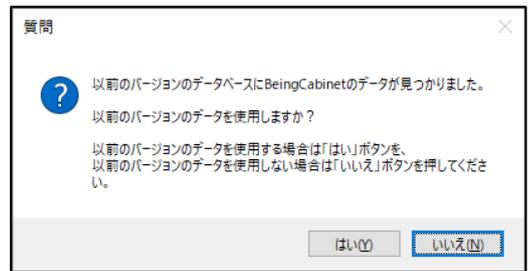
「データベースの初期設定プログラムを実行しますか？」と、
右図の質問メッセージが表示される場合

○「はい」を選択した場合

BeingCabinet のデータはすべて初期状態に戻ります。

○「いいえ」を選択した場合

データベースの初期設定を実行せず、BeingCabinet の現在のデータを利用します。



5. BeingCabinet がすでにインストールされている場合

■システム更新

新規インストールと同様に、CD-ROM ドライブに「BeingCabinet」の CD をセットして、インストールを始めて下さい。

■BeingCabinet サーバモジュールの再インストール

BeingCabinet サーバモジュールを再インストールしたい場合に
選択し、[実行]をクリックします。

BeingCabinet サーバの更新インストールに続いて、プロテクト
ドライブのインストールが自動的に行われます。
時間がかかることがあります。しばらくお待ち下さい。

BeingCabinet サービス名称・サービスポート番号が表示されます。

この情報は、BeingCabinetに接続するアプリケーションの設定時に
入力が必要になりますので、下記に記入して頂いてから[OK]を
クリックします。

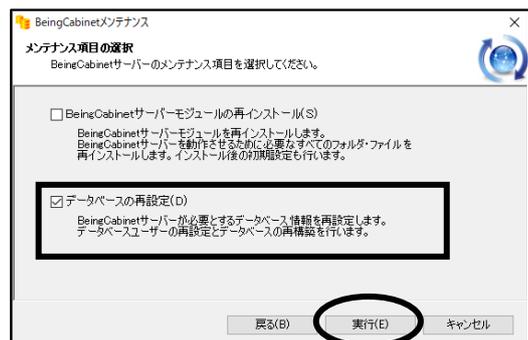
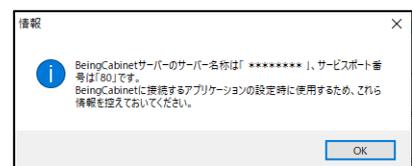
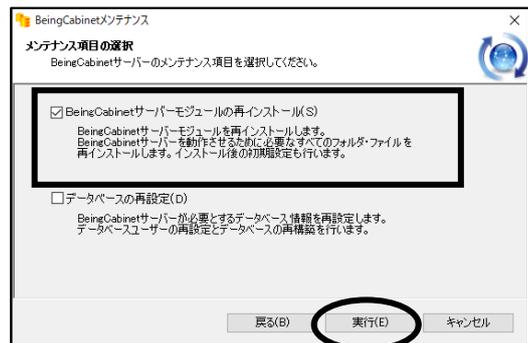
サーバー名(コンピュータ名)

サービスポート番号

■データベースの再設定

BeingCabinet サーバが必要とするデータベース情報を再設定
したい場合に選択し、[実行]をクリックします。

「データベースの再設定」を実行すると、現在データ
ベースに保存されているデータはすべて削除され、データ
ベースが初期状態に戻ります。



BeingCabinet サービス名称・サービスポート番号が表示されます。

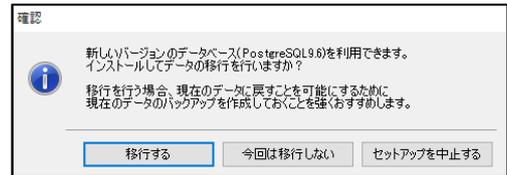
この情報は、BeingCabinetに接続するアプリケーションの設定時に入力が必要になりますので、下記に記入して頂いてから[OK]をクリックします。



■バージョン 1.6.0.53～1.7.0.65 からの更新インストール

右図の確認メッセージが表示されます。

現在のデータのバックアップを行わず、データの移行を開始してよい場合は、[移行する]をクリックします。



新しいバージョンのデータベースには移行せずに更新インストールを行う場合は、[今回は移行しない]をクリックします。

現在のサーバーのデータに戻すことを可能にするため、データベースの移行を行う前に、現在のデータをバックアップすることを強くおすすめします。

※データのバックアップを行う場合

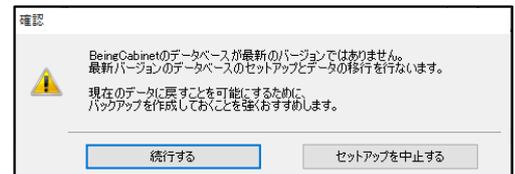
- ①「確認」メッセージで、[セットアップを中止する]をクリックし、更新インストールを中止します。
- ②バックアップリストアにて、データのバックアップを行います。
- ③再度、BeingCabinet サーバーのアンインストールを実行して下さい。

データのバックアップ方法については、「[バックアップリストア操作マニュアル](#)」をご参照下さい。

■1.5.0.52 以前のバージョンからの更新インストール

右図の確認メッセージが表示されます。

現在のデータのバックアップを行わず、データの移行を開始してよい場合は、[続行する]をクリックします。

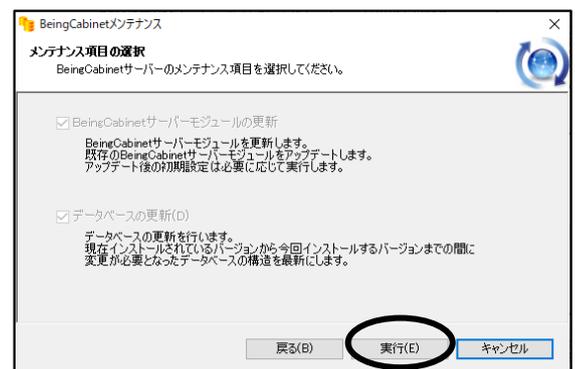


データの移行を中止する場合は、[セットアップを中止する]をクリックします。

「メンテナンス項目の選択」画面が表示されます。

BeingCabinet サーバーモジュールの更新とデータベースの更新を行いますので、メンテナンス項目を変更することはできません。

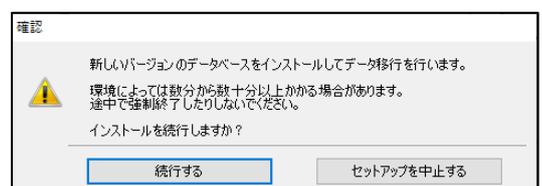
[実行]をクリックします。



インストールを続行してよい場合は、[続行する]をクリックします。

インストールを中止する場合は、[セットアップを中止する]をクリックします。

データの移行を開始すると、数分から数十分かかる場合があります。途中で強制終了しないで下さい。



インストール先の指定を行い、[実行]をクリックします。

PostgreSQL9.6 をインストールします。

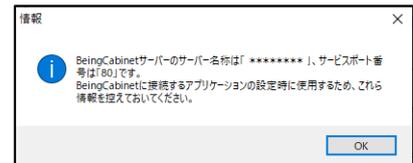
既存の PostgreSQL から PostgreSQL9.6 へデータの移行を行います。

BeingCabinet サーバーの更新インストールが開始されます。



BeingCabinet サービス名称・サービスポート番号が表示されます。

この情報は、BeingCabinetに接続するアプリケーションの設定時に入力が必要になりますので、下記に記入して頂いてから[OK]をクリックします。

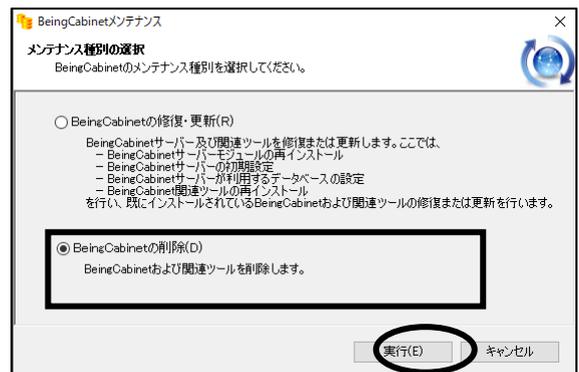


サーバー名(コンピュータ名)

サービスポート番号

■アンインストール

[BeingCabinet の削除]を選択し、[実行]をクリックします。

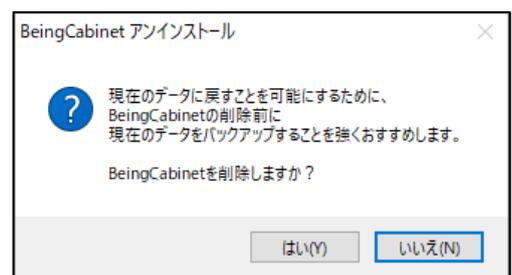


右図の警告メッセージが表示されます。

現在のデータのバックアップを行わずに、サーバーの削除を行ってよい場合は、[はい]をクリックします。

サーバーの削除を中止する場合は、[いいえ]をクリックします。

現在のサーバーのデータに戻すことを可能にするため、「BeingCabinet サーバー」を削除する前に、現在のデータをバックアップすることを強くおすすめします。
--



※データのバックアップを行う場合

- ①「警告」メッセージで、[いいえ]をクリックし、アンインストールを中止します。
- ②バックアップリストアにて、データのバックアップを行います。
- ③再度、BeingCabinet サーバーのアンインストールを実行して下さい。

データのバックアップ方法については、「[バックアップリストア操作マニュアル](#)」をご参照下さい。